



心サポネ

障害者の自立を支えるサポートネットワーク

『共にを、ともに目指す法人』

私たちは障害のあるみなさんと共に誰もが
住みやすい地域を目指しています。

「障害者だから」ではなく、
皆が同じ"人"として生きていくために
必要なサポート（介護）があります。

大切なのはいつも互い様の気持ちと思いやり。
そこからはじまる新たな“福祉”

地域とのつながりを広げ、
ともにを創る あなたとともに



訪問介護事業

「利用者の依頼に応じて、サポーター（ヘルパー）を派遣し、障害者の生活を支える事業。」
※スタッフ（正職員）も訪問介護をします。

「障害があっても住み慣れた町で暮らしたい。
こんなことがしたい！あんなこともしたい！」
そんな夢や生活を実現できるようサポートしたいと、サポーター（ヘルパー）派遣をしています。サポートを受けて障害のある方の生活がカラフルに生き生きとしたものになるよう努めています。24時間365日必要なときに必要なサポートをしています。
障害のある方が地域で自立した生活を送るためのサポートや休日のお出かけや買い物から散歩などの余暇を気持ちよく過ごせるようにガイドサポートもしています。
障害当事者のみなさんが、自分らしく自分を生きていくために必要なサポートがあります。それは私たちサポーター（ヘルパー）だけでは難しいこともあります。今、必要なのは理解の輪を広げること。
私たちの活動で、たくさんの方々に知るきっかけ・考えるきっかけを創るためにもっともっとたくさんの仲間が必要です。



身体介護

身体介護では、入浴介助・トイレ介助・清拭・整容（歯磨き、洗顔、爪切り、耳かきなど）・朝の身支度・就寝準備・食事介助など、身の回りのご自身でできないことに合わせて、様々なサポートをしています。中には2人ペアで入浴サポートなどを行うことがあります。泊り介護にも週に1回程度入ることがあります



家事援助

家事援助では、利用者さんの日常生活に必要な掃除・洗濯・調理などの家事全般のサポートを行います。実は、就職するまで家事をしたことがないスタッフもいたりします。サポネでは、スタッフに対して調理研修・洗濯講座など家事に関わる研修を実施して技術向上に努めています。



ガイドヘルパー

ガイドヘルパーもサポネの大きな事業の一つです。休日のお出かけや買い物から、散歩などの余暇を気持ちよく過ごすことはもちろん。そんな利用者さんの「こうしたい、ああしたい、〇〇に行きたい」をサポネではサポートしています。映画を観に行ったり、スポーツ観戦にも!!



サポネの家



「住宅街にある一軒家で、宅幼老所・生活介護・カフェを行なう事業」

地域のみなさんともっとつながっていきたいという想いで設立しました。
 一般の民家をそのまま利用し、「ひと・カラフル」の実践の場として障害者デイサービスや、高齢者の方・障害者の方・子供さん、誰もが楽しく過ごせる宅幼老所を運営しています。
 また、ウッドデッキのある素敵なカフェもあり、空間を分けることなくみんなで交流できるよう活動しています。

サポネの家のこんなところ

CAFE さぼね

地域の方や利用者さん、スタッフが交流できる、どんな方でも気軽に来ていただける場所として喫茶スペースを開放しています。

日替わりランチ

CAFE さぼねでは本格的なランチメニューをお手頃な価格で提供しています。中でも日替わりランチ(¥600-)が一番の人気メニューです。

障害者デイサービス

利用者さん・スタッフ・ボランティア・お客さんが分け隔てなく、本当の家のようにくつろげる居場所を目指してサポネの家は活動しています。

サポネの家の庭

庭の木々や植物はボランティアさんが手入れをしてくださっています。家庭菜園もあり、季節の野菜はランチの食材として大活躍です。

サポネの家の一日の流れ



利用者さんが集まったら朝礼の時間です。利用者さん・スタッフ・ボランティアさんの出席・欠席の確認をとったり、一日のやることを確認しあったりします。

午前中はよくお散歩へ出かけます。近所を小一時間ほど散策したり、スーパーへおつかいに行ったりします。車でドライブすることも。

昼食の時間では、スタッフが食事を配膳するのではなく、利用者さんにも食事を取りに来てもらって、「普段の家での生活」に近くなるような過ごし方をしています。



おやつが終わったら各自帰る準備をしていただいて、順番にご自宅・ショートステイ先等へ送迎します。最長で17時までのご利用が可能です。

15時になるとおやつタイムです。本格的な手作りおやつが楽しめます。※毎日ではありません。

食事のあとはゆったりした時間が流れます。創作活動をしたり、ゲームをしたり、お昼寝をして身体を休めたり、その人に合った過ごし方をさせていただきます。

営業時間：10時 - 17時
 カフェ：11時 - 16時
 (ラストオーダー15時半)
 営業日：月 - 金 ☆祝日も営業しています
 休み：土・日 お盆・年末年始など
 最寄り駅：上野小前・東豊中団地前(阪急バス)
 ☆駐車場1台有り(場合によっては2台)
 〒560-0012 大阪府豊中市上野坂1-1-8
 TEL / FAX：06-6850-0602
 E-mail：sapone-no-ie@nifty.com
 URL：http://www.sapone-no-ie.com/



イベント事業



「障害者と地域の人と一緒に楽しみ、交流するイベントづくり事業」
サポネでは、年に3回のイベントを開催しています。
サポネのイベントは障害当事者の「～したい」という想いを実現に向けて、
障害当事者のみなんで集まり実行委員会を開き、イベントの企画・運営を行っています。
これらのイベントを通じて、地域のみなさんやイベントに参加したボランティアの
みなさんと交流し、障害とは何かを知ってもらえたらと思い活動しています。

サポネではこんなイベントを開催しています！



ネットワーク事業



「サポネの活動を多角的に発信し、地域や社会に広めていく事業」
サポネは地域の方々との交流も大切にしており、年 2 回発行している「サポネ通信」でサポネの活動をたくさんの方に知ってもらったり、地域の方向けの講座を開催しています。また、sns やホームページなどネットワーク事業で運用しています。ただ広報するだけが目的ではなく、1 人でも多くの方に同じ地域に障害者がみなさんと同じように当たり前のように生活をしている事と、障害について知ってもらえたらと思い活動しています。

ネットワークの活動！



地域交流講座



救命講習



サポネ通信



インタビュー

育成事業



「介護や福祉に関する講座や、研修会を開催する事業」
サポネは介護に関する講座や研修会等を月に1,2回開催しています。ただサポート（介護）をするだけでなく、今の介護技術に満足せず、講座・研修などを経てよりよいサポートを提供するため日々向上心をもつよう心掛けています。そして、介護をする誰もがはじめは初心者です。そんな初心者でもサポネの研修を受ければ安心してサポート（介護）できるようにと活動しています。

生活コーディネート事業



「利用者の生活を利用者が望むものにコーディネートしていく事業」
サポネは、サポート（介護）をする上で大切にしていることがあります。それは「利用者さん主体」です。そのため利用者さんの今求めていること・望んでいることを事業所内に共有し、ケース会議などを開き、出来る限り利用者さんの想いを実現できるよう活動しています。

【採用までの流れ】

説明会に参加 → 面接 → 2回の実習 → 採用の決定

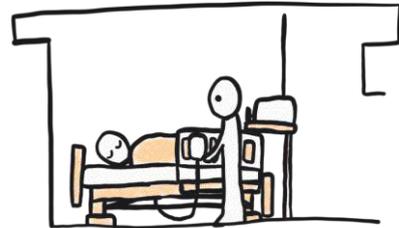
～実習内容～

- サポネの家（生活介護）でのサポート体験
- 訪問介護の現場体験
利用者によって、サポート内容が変わります。



【給与】

支給額（月給）	240,000 円
⇒基本給	205,000 円
+ 処遇改善手当	25,000 円
+ 特定処遇加算	10,000 円



【諸手当】

- 通勤手当（全額支給）、資格手当（「介護福祉士」5,000 円）
- 宿泊手当（泊り介護 1 回 4,000 円）
- 扶養手当（扶養義務のある子一子につき 10,000 円）
- 近距離住宅手当（大阪府豊中市在住者に 10,000 円）

【昇給】

年 1 回（4 月）

【賞与】

年 2 回⇒12 月、3 月

（業績による。12 月は本給給与 2 か月分、3 月は本給給与 1 か月分支給。
ただし勤続年数 3 年目より全額支給）

【休日休暇】

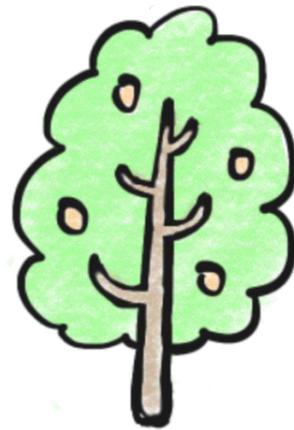
年間休日 110 日（シフト制）※毎月休み希望が出せます。

年次有給休暇 10 日～

【福利厚生】

- ◇各種社会保険完備（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災）
- ◇健康診断（年 1～2 回）、◇資格取得補助制度
- ◇各種支援（結婚、出産、育児、介護、生理休暇）
- ◇学習支援制度（年 2 万円まで補助）
- ◇メンタルヘルスケア

（産業医設置、ストレスチェック、日本カウンセリング協会）



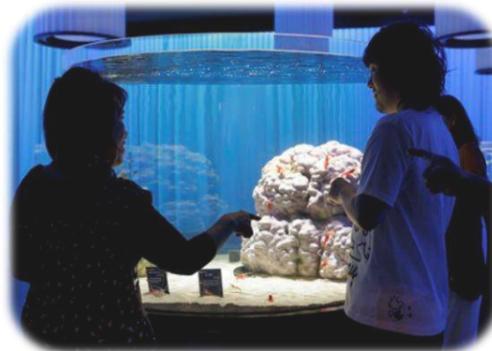
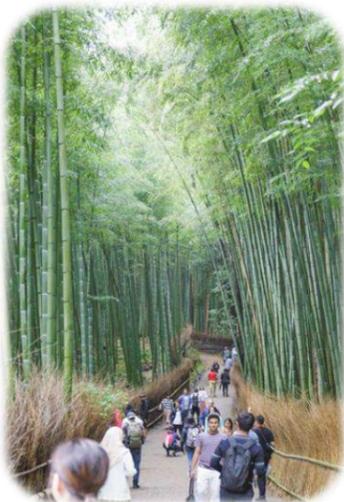
「障害者」と聞いて、みなさんは
どんなイメージがありますか？
可哀そう？変な見た目？
助けてあげないといけない人？

いいえ。

障害者だからではなく、
みんな同じ人間なんです。



私たちサポートネットワークは、
" 障害者と共に生きる "
をしている法人です。
1人ひとりの当たり前を実現するために
みなさんの " 思い " が必要です。
障害者の生活に触れて、経験することで
" 社会 " は変わります。



スタッフ紹介



「ようこそサポネへ！」

車いすユーザーで、代表を務めています。サポーターに支えられながら一人暮らしをしていますが、かつては両親が私の通学や生活を支える毎日でした。

「障害があっても自分自身で選んでいい」という当事者の先輩、実践するサポーターを目の当たりにしたこと、それが今の私の原点です。

これからも障害者の「～したい」を一緒に実践し続ける団体でありたいです。

代表 石倉 優子



「誰もが自分らしく」

私は周りの人に育ててもらいながら、いろいろなことができるように工夫し、多くの経験をしてきました。

「自立とは依存先を増やすこと」という言葉のように、何でも一人でやれる自立ではなく、多くの人々の助けを借りて、これからも自分らしく生きていきます。サポネのアンバサダーとして、地域の人やサポネの仲間と一緒に、誰もが自分らしく生活できる社会を創って行きたいです。

アンバサダー
高木 智志



「知ることが第一歩」

私は学生時代の学習をきっかけに、「障害のある人たちのことをもっと知りたい。そのためにはまず、その人たちの日常生活に自分の身を置きたい」と考えて、サポネへ入社しました。私はサポートを通して、障害のある人たちの好きなことや苦手なこと、得意なことを知っていきました。同じ人間同士、私たちはそれらを一度受け入れ、共感・共有し合ったり、フォローし合ったりすることができますし、そうすることが、社会で共に生きていくために必要だと思っています。だから、ひとりでも多くの人に、「障害のある人たちの多くの面を知ることから始めてほしい」。

サポネの様々な活動が、それにつながることを信じています。

2024年入社スタッフ
毛家村 望



「管理者として」

2025年度からサポネの家の管理者に就任しました。2017年にサポネに入職した直後からサポネの家に配属となり、3年目辺りからは「いつかはサポネの家の管理者になるのだろうか」と心の準備はしていましたが、実際に管理者になると想像以上に業務が多くバタバタとした日々を過ごしています。ありがたい事に前任の瀬戸からはとても良い状態でバトンを渡されたため、周りのスタッフからもいろいろとフォローして貰いながら何とか日々の業務をこなせています。思えばこれまで予想外の連続だったように思います。サポネに入職する前は「介護の仕事はしないだろうな」と自分自身思っていたのですが、何かに導かれるようにサポネに入職しましたし、「人の上に立つような役割には就かないだろうな」と思っていたらサポネの家の管理者になりました。

予想外な出来事が多いサポネの家ですが、その予想外な出来事を楽しみつつ新しいリーダー像を見せられたらと思います。今後はサポネの家を今まで以上に発展させていき、次世代にバトンを繋いで行くことが私のサポネで働く上での使命の一つかなと思っています。利用者さんにとって過ごしやすい場所だと思ってもらえるようにするのはもちろんですが、一緒に働くスタッフに関してもできるだけ長く働きたいなと思ってもらえる様な職場環境づくりに励んでいきたいです。



サポネの家管理者
中田 航介

「2つにミッション」 ひと・カラフルコーディネーター

サポネには2つのミッション（使命）があります。●1つは、障害のある方の、地域での生活を支える「サポート」としての【ヘルパー派遣】を中心とした役割です。

「障害のあるひと」といっても、障害の種類や特性も様々です。みんな個性があります。その一人ひとりに合わせたサポートをするには、まず人を知ろうとすることが大事です。その個人を丸ごと受け止める、知ろうとするコミュニケーションの力が必要です。

そのうえで、その人が求めているサポートを提供できる介護技術を身につけなければなりません。身体介護技術の他に、料理・洗濯・掃除などの家事も大切なサポートです。生活力、生きるちからを向上させ、適切なサポートを提供できるように十分な研修を行っています。信頼関係をつくり、より良い「障害者の自立を支える」「サポート」を実践していきます。

●もう1つのミッションは、様々な障害のある人が、生き活きと活躍するための【まちづくり】です。

この社会は、障害があると「できないこと」がまだまだあります。それは「サポート」だけでは解決できません。「バリアフリー」「合理的配慮」などの社会モデルの意識を、多くの人々や組織に理解してもらい、社会そのものが変わらないと、本当の意味で、障害のある人が活躍する「まち」にはなりません。支えが必要なのは、「障害のあるひと」だけではありません。高齢化社会、引きこもり、虐待、社会にはたくさんの課題があります。それは支えあえない社会の問題です。「サポート」の「ネットワーク」をつくっていく。

私たちは、障害のある人と共に考え、みんなで支える社会を、「まち」をつくるために活動しています。



事務局長
古田 拓也



NPO 法人障害者の自立を支えるサポートネットワーク

〒560-0021

大阪府豊中本町 1-13-34 ウェルネスガーデン 3F

TEL 06-6846-7781

FAX 06-6846-7782

E-mail cqt01523@nifty.com

URL <https://sapone.or.jp/> (サポネ)

<http://www.sapone-no-ie.com/> (サポネの家)



Instagram



TikTok

みずもとひかる
写真：水本光さん(<https://hikarumizumoto.com>)
にしもとあきかず
西本彰一さん

